

令和5年度 学校評価（あきた型）シート  
「秋田西高等学校」

①

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定（Plan）

②	重点目標	生徒一人ひとりの進路実現の達成
③	現 状	多様な生徒の進路実現に向けて熱心な指導を行っているものの、進路研究が不十分だったり、進路意識の低い生徒がみられる。
④	具体的な目標	進路意識の向上と学力の育成
⑤	目標達成のための方策	授業、朝学習、補習を通しての学習習慣の定着と学力向上。進路情報の発信や講演会等を通して、進路意識の高める。

実践（Do）

⑥	具体的な取組状況	進路講演会や大学訪問など多くの進路行事を実施することができた。
⑦	達成状況	模擬試験等で生徒の学力の向上、特に成績上位層で認められた。

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧	自己評価	評価	根 拠
		A	生徒の進路意識の向上がみられ、学習に前向きに取り組んでいる。模擬試験の結果で学力の向上がみられた。
⑨	学校関係者評価と意見	評価	意 見
		A	生徒の進路意識を早く持たせることは目標達成のために大切である。そのためにも、今までの取り組みに加えて、卒業生から後輩へのアドバイスを聞かせる機会を設けることも有効であるのではないか。

改善した実践（Action）

⑩	自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	これまでも先輩講話、進路の手引きでの合格体験記の掲載などを通して、アドバイスを伝える機会を設けているが、新しい取り組みとして卒業生からのアドバイスなども提供できるように工夫していきたい。
---	-----------------------	---